

保守性・柔軟性・汎用性に優れた  
ベーシックモデル

工程別圧造荷重計

Forging Load Checker Ver.2



### ユニット化＝保守性向上

FLC2シリーズ搭載の全ユニットはシートパネル採用により、当社旧荷重計と比べて操作性・耐油性が向上しており、油煙の浸透によるユニット故障が起こりにくい構造となっています。  
万一の故障の際にも、ユニット単位で交換ができるため、短期間での修理対応が可能です。

### より正確なピーク値

同期信号1回毎にゼロサンプルを行い、被検出物の温度変化の影響を自動的に最小限に抑えます。  
また、歪ゲージセンサーの場合は初期歪みによる入力のズレ（オフセット）を簡単操作で自動調整可能です。  
センサーやユニット交換の際の作業を大幅に軽減します。

### ニーズに応えるユニット構成

FLC2シリーズはお客様の設備に合わせた豊富な組み合わせをご用意しております。

- ①②③のご指定により、カスタマイズして頂くことが可能です。
- ①工程数に合わせたスレーブユニット数の指定
- ②オプションユニットである短尺検出（K-3H）の追加
- ③計測用センサーを歪ゲージまたはピエゾより選択。

当社旧荷重計をお使いのお客様には配線変更の必要がないため、置き換え作業が非常に簡単です。



## 荷重ピーク値表示機能

同期信号がON→OFF時の荷重値を取り込んで表示し、異常の有無を検出します。  
 上限異常は同期信号がONの間中は常時、また、下限・前回比較異常は、OFFになった瞬間に異常検出を行い、異常信号を出力します。

## 異常検出機能・異常信号

計測荷重に対して任意の設定値（上限、下限、前回比較）との比較を行い、異常有無の判定を行えます。  
 異常発生時には異常信号を出力し、外部装置へ通達します。  
 異常信号の停止は、パネル操作または外部信号の入力により制御が可能です。

## 初期末検査数機能

機械運転開始時等の不安定動作による荷重測定値にて、異常検出を行わないようにする機能です。  
 下限異常、前回比較異常、波形異常の検出に対して有効です。  
 上限異常は初期末検査数とは無関係に異常の検出を行います。

## ダイレクト表示機能

荷重計のメンテナンス時等に使用し、計測用センサーと各入力信号の状態を確認することが可能です。

## 過去荷重呼出機能

過去10回分のピーク値および異常発生状況の確認が可能です。

## 商品仕様

型式	FLC2 - x(G/P) + (K-3H) ※ x は工程数、Gは歪ゲージ、 Pはピエゾセンサー、K-3HはK-3H付
名称	工程別荷重計
測定仕様	ピーク値表示
構造	単体設置型
使用可能センサー	ピエゾセンサー／歪ゲージセンサー
表示桁数	4桁数値
入力	荷重信号+、荷重信号- (専用ケーブル入力) 同期信号、送り信号、異常リセット入力、 間歇信号、間歇ワーク有信号 (無電圧無接点トランジスタ出力を使用前提) 外部アイソレーション電源 DC24V
出力	異常信号、補助信号 NPNオープンコレクタ 最大50mA (DC24V以下) ※容量性負荷は接続不可 ※各社PLCドラッグス入力ユニットに対する出力を前提
定格：電源電圧	AC100V±10% 50/60Hz
消費電力	約 200VA
寸法（一体型）	(76 + (工程数 + オプション数) × 70) (W) × 176(H) × 300(D) mm

※本仕様は断り無く変更になる場合がございますので予めご了承下さい。

## 《お問い合わせ先》